

第1回さぬき市学校再編計画地域連絡協議会 会議録

日時：平成19年12月20日（水）19時30分から21時20分

場所：津田支所 2階委員会室

1. さぬき市学校再編計画地域連絡協議会規約について

承認

2. 会議及び会議の結果の公開・非公開について

公開とする

3. 議題

(1) 議事

①会長・副会長の選出について

会長 寒川 巧（長尾地区地域協議会）

副会長 角 昌五郎（志度東地区地域協議会）

②各地域協議会の状況報告について

③中学校の再編計画について

議事② 各地域協議会の状況報告について

(内容)

(委員) 学校再編計画(案)は昨年、検討委員会を設置し学校再編について協議検討の結果、さぬき市学校再編計画(案)を策定したと聞いている。今回、再度賛否を話し合っているが、昨年の検討委員会は何であったのか。協議過程に計画性が無いのではないか。計画(案)は既に示されているのであるから、(案)に従い具体的に進めるべきではないか。

(事務局) 検討委員会での再編計画(案)を基本に、より多くの意見を反映したく地域協議会を設けた。あくまでも最終判断は教育委員会にあるが、より具体的な協議や意見の交換をお願いしたいと考え地域協議会を設置した。

(委員) 市教委が提案する再編計画(案)でも、適正規模にはならないのでは。小学校は、地域との関わりが大切とは思いますが、将来を考えると地域を越えた再編も必要ではないか。

(委員) 報告資料では、多和・前山小学校の再編は、やむなしとの表現であるが、地元としては再編の意思表示はしていない。地域の意見としては、1年でも長く存続することを望んでいる。このことは明確にしておきたい。

(委員) 再編の論議は、施設の統廃合問題が中心になっているようであるが、一番大切なことは子どもの教育を中心に考えるべきではないか。また、大規模校もいいところもあると認めるが、小規模校にもいいところがあると確信している。再編の流れは、時代の要請かもしれないが、再編を計画するにも、さぬき市が他の自治体に誇れる独自の教育方針が必要と考える。

(委員) 検討委員会で小学校を 6 校にした理由は何か。財政面を考慮したなかでの計画案か。

(事務局) 財政面からの計画案ではない。幼稚園や中学校との連携や地域性を考慮し、適正規模と適正配置の観点から検討し、この案となった。

(委員) 再編を協議する場合、財政面も大きなウエイトを占める。施設建設についても現状の改築か新築かの政策案を示し協議する必要がある。

(委員) 鶴羽地区は当初、再編に対し反対意見が多数であった。今でも本心は反対である。しかし、存続をしても 20 年後の児童数は今の半分程度になる。また、地震等の防災面でも心配である。小規模校もいいとは思いますが、再編は前向きに考えなければならない。

(委員) 小学校はあくまでも旧町単位で考えてもらい。但し、地域のことも考えなければならないが、基本は子どもの教育である。小田や前山小などのように少人数では、クラブ活動等の集団活動が出来ない。競争心を養うことが難しくなる。競争することだけが教育ではないが、ある程度の規模は必要である。

(委員) 小学校の再編計画については、まだまだ協議が必要ではないかと感じる。再度、地域協議会で検討したい。

### 議事③ 中学校の再編計画について

中学校の再編計画については、連絡協議会を中心に協議を進めて行くことで承認。ただし、必要と認める各地域協議会委員には、この協議に参加を要請する。

(意見内容)

(委員) 中学校の通学手段は、自転車为前提であることから、さぬき市全体のバランスを考えれば 3 校がいいのではないか。また、校区を全面的に見直すことが必要ではないかと思う。従来の地域単位の考え方ではなく地域を越えた柔軟な対応が必要と考える。

(委員) 再編計画を考えると、地域性も大切だが人口の分布(人口密度)を考慮した計画協議をすべきではないか。また、通学バス計画も含めた再編計画の具体案を何案か事務局より提示して欲しい。

(委員) 小学校は、できる限り地域との関係を重視すべきであると考え。反面、中学校は、範囲を広げ、さぬき市全体で考えてもいいのではないか。

(委員) 中学校のみで考えるのであれば、2校でもいいと思うし、極端に言えば1校でもいいと思う。しかし、配置を考える場合、小学校との関係や自治会との関係性も考慮しなければならないのではないか。中学校の配置を論議する前提として、中学校のみで考えるのか若しくは小学校や地域性との関係も考慮した考えなのかを明確にする必要があるのでは。

(委員) 中学校は、ある一定の生徒数の確保が必要。現案であれば、何年後かには、現在と同じように、小規模校になる。小規模校になればクラブ活動の選択肢が狭くなるし、教職員の確保にも問題が生じる恐れがある。できれば、計画(案)に示す4校より、校数を少なくすることも必要ではないか。

(委員) スクールバスは、部活動には支障がある。個人の事情に合わせて通学が出来ない。校数を極端に少なくするのは無理があるのではないか。

(委員) 中学校の再編については、できる限り校数が少ない方向がいいとの意見であるが、スクールバス等の通学支援の具体的な対策が示されてのことである。

次回の連絡協議会では、具体的な通学支援及び建設位置及び学校規模について事務局より、提示し協議する。

#### 4. 次回の日程について

1月31日(木) 19時30分 津田支所 2階委員会室